

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業		<b>担当部局庁</b>	科学技術・学術政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>	国際交流官付		国際交流官 匂坂克久		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	第4期科学技術基本計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国際共同研究ネットワークの核となる優れた研究者を育成し、我が国の学術の振興を図るとともに、成長を牽引する若手研究人材が国際的に切磋琢磨する場を提供する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	頭脳循環において国際研究ネットワークの核となる優れた研究者の育成を図るため、研究組織の国際研究戦略に沿って、若手研究者を海外へ派遣し、派遣先の研究機関と行う世界水準の国際共同研究に携わり、様々な課題に挑戦する機会を提供する大学等研究機関を支援する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算				1,750	2,544	
		繰越し等				0		
		計				1,750	2,544	
	執行額							
	執行率 (%)							
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	本事業の目的は国際研究ネットワークの核となる優れた研究者の育成を図ることにあるため、達成度を定量的な指標を用いて示すのは困難。		成果実績	人	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業により支援した大学等研究機関数		活動実績 (当初見込み)	機関	-	-	-	(104)※
				%	-	-	-	-
	本事業により派遣された研究者数		成果実績	人	-	-	-	(208)※
			達成度	%	-	-	-	-
※平成22年度の事業「頭脳循環を活性化する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」からの継続分を含む。								
<b>単位当たりコスト</b>	継続分:19(百万円/機関) 新規分:12(百万円/機関)		算出根拠		<継続分> インプット(平成23年度当初予算):1,292百万円 アウトプット(支援機関数):68機関 <新規分> インプット(平成23年度当初予算)432百万円 アウトプット(支援機関数):36機関			
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	若手研究者戦略的海外派遣事業費補助金	1,750百万円	2,544百万円	平成23年度104件採択に対し、平成24年度は166件採択見込とし、前年度比62件増の予定である。件数増に応じて平成24年度要求額は前年度比約794百万円増となった。				
	計	1,750百万円	2,544百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	他事業に係る行政事業レビューや事業仕分けの指摘事項等を踏まえ、効果的・効率的な事業運営を行っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省  
1,750百万円

頭脳循環において、国際研究ネットワークの核となる優れた研究者の育成を図るため、研究組織の国際研究戦略に沿って、若手研究者を海外へ派遣し、派遣先の研究機関との間で行う世界水準の国際共同研究に携わり、様々な課題に挑戦する機会を提供する大学等研究機関を支援。

【補助金】

A:若手研究者戦略的派遣  
事業費補助金  
(独)日本学術振興会  
1,750百万円

〔補助金の交付・公募・審査に係る業務を実施。〕

【公募・補助金】

B:平成23年度採択予定課題  
1,725百万円  
大学・独立行政法人等  
(全104機関)

〔若手研究者を海外へ派遣し、派遣先の研究機関と行う国際共同研究に携わり、様々な課題に挑戦する機会を提供。〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)

A.(独)日本学術振興会			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
補助金	大学・独立行政法人等へ交付予定	1,725			
謝金等	委員手当、書面審査謝金	5			
旅費	委員会出席等旅費	3	謝金等	委員手当、書面審査謝金	5
消耗品	消耗品費	1			
その他	会議開催経費、役務費等	15			
計		1,750	計		5
B.大学・独立行政法人等(全104機関(予定))			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
補助金	継続分:19百万円×68機関 新規分:12百万円×36機関	1,725			
計		1,725	計		0
G.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)